

学校コード F129110109215

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の設置

注1

意見伺い

注2

奈良女子大学

工学部

工学科

(必要がある場合) ○○専攻

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 奈良国立大学機構 奈良女子大学
令和4年5月1日現在

作成担当者	
担当部局(課)名	企画課
職名・氏名	<small>ケイエイキカクカリチョウ</small> 経営企画係長 <small>ネリ</small> 堀 <small>マサヒロ</small> 昌弘
電話番号	0742-20-3692
(夜間)	0742-20-3692
e-mail	hyoka@jimu.nara-wu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「○○大学」
 - 学部の設置の場合：「○○大学 △△学部」
 - 学部の学科の設置の場合：「○○大学 △△学部 □□学科」
 - 短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学 △△学科」
 - 大学院設置の場合：「○○大学大学院」
 - 大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院 ○○研究科」
 - 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
 - 通信教育課程の開設の場合：「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

工学部

<工学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	45
7. その他全般的事項	46

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 奈良国立大学機構

(2) 大学名

奈良女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒630-8506

奈良県奈良市北魚屋西町（奈良県奈良市北魚屋東町）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(サカキ ヒロユキ) 榊 裕之 (令和4年4月)	—	
学長	(イマオカ ハルキ) 今岡 春樹 (令和4年4月)	—	
学部長	(フジタ メイジ) 藤田 盟児 (令和4年4月)	—	
学科長等	(フジタ メイジ) 藤田 盟児 (令和4年4月)	—	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
工学部 工学科 学士（工学）	工学関係	4 年	45 人	10 人 年次	200 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	45 (-) [-]	() []	1.06倍	倍								
志願者数	() []	284 (-) [-]	() []										
受験者数	() []	202 (-) [-]	() []										
合格者数	() []	51 (-) [-]	() []										
B 入学者数	() []	48 (-) [-]	() []										
入学定員超過率 B/A									1.06				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	48 [0] (-)	[] ()								
2年次	/		[] ()	[] ()							
3年次	/		/		[] ()	[] ()					
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	[] ()	48 [0] (-)	[] ()								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	(記入例) 就学意欲の低下(5人)、他の教育機関への転学(2名) [就職(1人)、除籍(2人)]
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	48人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{48} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学部 工学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	教	准	講	助	助	
			修	由	授	授	師	教	手	
基礎科目群	コンプリヘンシブ・イングリッシュ	1前・後	1							1
	ブラクティカル・イングリッシュ	1前・後	1							1
	アカデミック・イングリッシュ	2前・後	1							1
	プレゼンテーション・イングリッシュ	2前・後	1							1
	ドイツ語 I A	1前・後	1							1
	ドイツ語 I B	1前・後	1							1
	ドイツ語 II A	2・3・4前・後	1							1
	ドイツ語 II B	2・3・4前・後	1							1
	ドイツ語 III	2・3・4前	1							1
	ドイツ語 IV	2・3・4後	1							1
	フランス語 I A	1前・後	1							1
	フランス語 I B	1前・後	1							1
	フランス語 II A	2・3・4前・後	1							1
	フランス語 II B	2・3・4前・後	1							1
	フランス語 III	2・3・4前	1							1
	フランス語 IV	2・3・4後	1							1
	中国語 I	1前・後	1							1
	中国語 II	2前・後	1							1
	中国語 III	2・3・4前	1							1
	中国語 IV	2・3・4後	1							1
教養教育科目	健康運動実習 I	1前	1							1
	健康運動実習 II	1後	1							1
	スポーツ実習	2前	1							1
	情報処理入門 I	1前	2							1
	情報処理入門 II	2後	2							1
	「奈良」女子大学入門	1前	2							1
	これからの社会で生きるために	3通	1							1
	パサーージュ	1前	1							1
	アジア学入門	1前	2							1
	アラビアの言語と文化	1後	2							1
教養科目群	現代の倫理	1前	2							1
	歴史学	1前	2							1
	日本の言語と文学	1前	2							1
	ことばのしくみ	1後	2							1
	ことばと文化	1前	2							1
	日本の美と芸術	1前	2							1
	人類史	1前	2							1
	考古科学ゼミ	1前	2							1
	古典を読む I	3後	2							1

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	教	准	講	助	助	
			修	由	授	授	師	教	手	
基礎科目群	コンプリヘンシブ・イングリッシュ	1前・後	1							6
	ブラクティカル・イングリッシュ	1前・後	1							10
	アカデミック・イングリッシュ	2前・後	1							2
	プレゼンテーション・イングリッシュ	2前・後	1							1
	ドイツ語 I A	1前・後	1							1
	ドイツ語 I B	1前・後	1							1
	ドイツ語 II A	2・3・4前・後	1							1
	ドイツ語 II B	2・3・4前・後	1							1
	ドイツ語 III	2・3・4前	1							1
	ドイツ語 IV	2・3・4後	1							1
	フランス語 I A	1前・後	1							1
	フランス語 I B	1前・後	1							2
	フランス語 II A	2・3・4前・後	1							1
	フランス語 II B	2・3・4前・後	1							1
	フランス語 III	2・3・4前	1							1
	フランス語 IV	2・3・4後	1							1
	中国語 I	1前・後	1							2
	中国語 II	2前・後	1							1
	中国語 III	2・3・4前	1							1
	中国語 IV	2・3・4後	1							1
中国語検定初級 I	1前	1							1	
中国語検定初級 II	1後	1							1	
中国語検定中級 I	2前	1							1	
中国語検定中級 II	2後	1							1	
スペイン語初級 I	1前	1							1	
スペイン語初級 II	1後	1							1	
スペイン語中級 I	2前	1							1	
スペイン語中級 II	2後	1							1	
ロシア語初級 I	2前	1							1	
ロシア語初級 II	2後	1							1	
ロシア語中級 I	2前	1							1	
ロシア語中級 II	2後	1							1	
韓国語初級 I	1前	1							1	
韓国語初級 II	1後	1							1	
韓国語中級 I	2前	1							1	
韓国語中級 II	2後	1							1	
教養教育科目	健康運動実習 I	1前	1							2
	健康運動実習 II	1後	1							2
	スポーツ実習	2前	1							1
	情報処理入門 I	1前	2							3
	情報処理入門 II	2後	2							1
	「奈良」女子大学入門	1前	2							1
	考える力をみがく	2後	2							1
	これからの社会で生きるために	3通	1							3
	諸学への誘い	1・2・3・4前	1							10
	パサーージュ	1前	1							17
教養科目群	部落史と部落問題	1前	2							2
	アジア学入門	1前	2							8
	アラビアの言語と文化	1後	2							1
	ベトナムの言語と文化	1後	2							1
	哲学の歴史	1後	2							1
	現代の倫理	1前	2							1
	現代宗教学への招待	1前	2							1
	心の科学への招待	1前	2							1
	社会と文化の心理学	1後	2							1
	歴史学	1前	2							3
日本の言語と文学	1前	2							1	
ことばのしくみ	1前	2							1	
ことばと文化(未開講)	1前	2							1	
西洋の言語と文化	1後	2							1	
日本の美と芸術	1前	2							1	
西洋の美と芸術	1後	2							1	
音楽概説	1後	2							1	
地域の人と暮らし	1前	2							1	
人類史	1前	2							5	
考古科学ゼミ	1前	2							1	
古典を読む A	3後	2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
基幹科目群	基幹発展科目	機械力学	1-2-3-4後	2							1
		熱力学	1-2-3-4後	2							1
		電磁気学	1-2-3-4前	2							1
		流体力学	1-2-3-4前	2							1
		材料力学	1-2-3-4前	2							1
		基礎生理学	1-2-3-4前	2		1					
		物理化学	1-2-3-4前	2		1					
		有機化学	1-2-3-4後	2		1					
		物理化学実験	1-2-3-4前	2		1	1				
		造形基礎演習Ⅱ	1-2-3-4後	1		1	1				2
		批判的思考Ⅱ	1-2-3-4後	1		1					7
		歴史文化工学	1-2-3-4後	2							1
		技術と理念の日本美術史	1-2-3-4前	2							1
		植物生産学	1-2-3-4前	2							1
		イノベーション演習	1-2-3-4前	1							1
情報ビジネス	1-2-3-4前	2		1							
起業論	1-2-3-4後	1							1		
小計(25科目)		—	0	42	0	9	2	0	0	0	25
工学部専門教育科目	専門基礎科目	最適化	1-2-3-4後	2							1
		パターン認識	1-2-3-4後	2		1					
		センサ工学	1-2-3-4後	2		1	1				1
		メディア工学演習	1-2-3-4後	2		1					
		生活支援と福祉工学	1-2-3-4前	2			1				
		信頼性工学	1-2-3-4前	1		2					
		先端設計生産工学実習Ⅰ	1-2-3-4前	2							1
		工学概論	1-2-3-4前	2		1	1				
		認知神経科学	1-2-3-4後	2			1				
		生体計測基礎実習	1-2-3-4後	2		2	1		1		
		感性工学	1-2-3-4後	1		1					
		物性工学	1-2-3-4後	2							1
		高分子構造	1-2-3-4前	2		1					
	無機化学	1-2-3-4前	2		1						
	機器分析化学	1-2-3-4後	2			1					
	応用物理化学実験	1-2-3-4後	2			1					
	有機・無機化学実験	1-2-3-4前	2		1						
	建築環境工学	1-2-3-4後	2		1						
	都市・建築デザイン学	1-2-3-4前	2			1					
	環境・防災科学	1-2-3-4前	2							1	
	プロジェクト・マネジメント	1-2-3-4前	2			1					
	エンジニアリングビジネス演習	1-2-3-4後	1		1						
	プレゼミナール	1-2-3-4前	2		9	3	2	1			
	コンセプトアルデザイン演習(PBL)	1-2-3-4前	2		1	1				1	
	ユーザー指向開発演習(PBL)	1-2-3-4前	2		2						
	社会改善起業演習(PBL)	1-2-3-4後	2		1	1				2	
小計(26科目)		—	2	47	0	9	3	2	1	0	7
専門応用科目	専門応用科目	関係データ分析	1-2-3-4前	2		1					
		五感情報設計演習	1-2-3-4前	2			1				
		ヒューマンインターフェース演習	1-2-3-4前	2		2					4
		先端設計生産工学実習Ⅱ	1-2-3-4前	2							1
		ヘルスプロモーション	1-2-3-4前	2			1				
		ヒューマンキネティクス	1-2-3-4前	2					1		
		生体機能学	1-2-3-4後	2		1					
		生体医学演習	1-2-3-4前	2		1	1		1		
		有機工業化学	1-2-3-4後	2		1					
		高分子材料学	1-2-3-4後	2		1					
		機能性高分子化学	1-2-3-4後	2							1
		機能性有機材料化学	1-2-3-4後	1							1
		環境人間工学演習	1-2-3-4前	2		1					
		プロダクトデザイン演習	1-2-3-4後	2		1					1
		建築都市発展演習Ⅰ	1-2-3-4前	3		1	1				
		建築都市発展演習Ⅱ	1-2-3-4後	3		1	1				
		芸術文化発展演習	1-2-3-4前	2		2					
		河川・海岸工学	1-2-3-4後	2							1
		プロジェクト・デザイン演習	1-2-3-4後	2		1					
コミュニケーション工学	1-2-3-4後	1							1		
卒業研究Ⅰ	3後	3		8	3	2	1				
卒業研究Ⅱ	4前	3		8	3	2	1				
卒業研究Ⅲ	4後	3		8	3	2	1				
小計(23科目)		—	9	40	0	9	3	2	1	0	10
小計(152科目)		—	42	214	0	9	3	2	1	0	71
基幹科目群	基幹発展科目	機械力学	1-2-3-4後	2							1
		熱力学	1-2-3-4後	2							1
		電磁気学(未開講)	1-2-3-4前	2							1
		流体力学(未開講)	1-2-3-4前	2							1
		材料力学(未開講)	1-2-3-4前	2							1
		基礎生理学	1-2-3-4後	2		1					
		物理化学(未開講)	1-2-3-4前	2		1			1		
		有機化学	1-2-3-4後	2		1					
		物理化学実験(未開講)	1-2-3-4前	1		1			1		
		造形基礎演習Ⅱ	1-2-3-4後	2		2					2
		批判的思考Ⅱ	1-2-3-4後	1		1					7
		歴史文化工学	1-2-3-4後	2							1
		技術と理念の日本美術史	1-2-3-4後	2							1
		植物生産学(未開講)	1-2-3-4前	1							1
		イノベーション演習(未開講)	1-2-3-4前	1							1
情報ビジネス(未開講)	1-2-3-4前	2		1							
起業論	1-2-3-4後	1							1		
小計(25科目)		—	0	42	0	9	1	0	0	0	25
工学部専門教育科目	専門基礎科目	最適化	1-2-3-4後	2							1
		パターン認識(未開講)	1-2-3-4前	2		1					
		センサ工学	1-2-3-4後	2		1	1				1
		メディア工学演習	1-2-3-4後	2		1					
		生活支援と福祉工学	1-2-3-4後	2					1		
		信頼性工学	1-2-3-4後	1		2					
		先端設計生産工学実習Ⅰ(未開講)	1-2-3-4前	1							1
		工学概論(未開講)	1-2-3-4前	2		2					
		生体力学	1-2-3-4後	2					1		
		認知神経科学	1-2-3-4後	2			1				
		生体計測基礎実習	1-2-3-4後	2		2	1		1		
		感性工学	1-2-3-4後	1		1					
		物性工学	1-2-3-4後	2							1
	高分子構造	1-2-3-4前	2		1						
	無機化学(未開講)	1-2-3-4前	2					1			
	機器分析化学	1-2-3-4後	2			1					
	応用物理化学実験(未開講)	1-2-3-4前	2			1					
	有機・無機化学実験	1-2-3-4後	2		1						
	建築環境工学(未開講)	1-2-3-4前	2		1						
	都市・建築デザイン学	1-2-3-4後	2			1					
	環境・防災科学(未開講)	1-2-3-4前	2							1	
	プロジェクト・マネジメント(未開講)	1-2-3-4前	2			1					
	エンジニアリングビジネス演習	1-2-3-4後	1		1						
	プレゼミナール(未開講)	1-2-3-4前	2		9	3	2	1			
	コンセプトアルデザイン演習(PBL)(未開講)	1-2-3-4前	2		1	1				1	
	ユーザー指向開発演習(PBL)(未開講)	1-2-3-4前	2		2						
社会改善起業演習(PBL)	1-2-3-4後	2		1	1				2		
小計(27科目)		—	2	48	0	11	3	2	0	0	7
専門応用科目	専門応用科目	関係データ分析	1-2-3-4後	2		1					
		五感情報設計演習(未開講)	1-2-3-4前	2			1				
		ヒューマンインターフェース演習(未開講)	1-2-3-4前	2		2					4
		先端設計生産工学実習Ⅱ(未開講)	1-2-3-4前	2							1
		ヘルスプロモーション(未開講)	1-2-3-4前	2			1				
		ヒューマンキネティクス(未開講)	1-2-3-4前	2					1		
		生体機能学	1-2-3-4後	2		1					
		生体医学演習(未開講)	1-2-3-4前	2		2			1		
		有機工業化学	1-2-3-4後	2		1					
		高分子材料学(未開講)	1-2-3-4前	2		1					
		機能性高分子化学	1-2-3-4後	2							1
		機能性有機材料化学	1-2-3-4後	1							1
		電気化学(未開講)	1-2-3-4後	2					1		
		環境人間工学実習	1-2-3-4後	2		1					
		プロダクトデザイン演習	1-2-3-4後	2		1					1
		建築都市発展演習Ⅰ(未開講)	1-2-3-4前	3		2					
		建築都市発展演習Ⅱ	1-2-3-4後	3		2					
		芸術文化発展演習(未開講)	1-2-3-4前	2		2					
		河川・海岸工学	1-2-3-4後	2							1
プロジェクト・デザイン演習	1-2-3-4後	2		1							
コミュニケーション工学	1-2-3-4後	1							1		
卒業研究Ⅰ	3後	3		10	3	2					
卒業研究Ⅱ	4前	3		10	3	2					
卒業研究Ⅲ	4後	3		10	3	2					
小計(24科目)		—	9	42	0	11	3	2	0	0	10
小計(204科目)		—	42	295	0	11	3	2	0	0	176

卒業要件及び履修方法
<p>【教養教育科目】30単位以上</p> <p>1. 基礎科目群 12単位以上(下記を含む)</p> <p>(a)外国語科目 8単位必修(英語、ドイツ語、フランス語、中国語から8単位。ただし、英語は4単位以上)</p> <p>※各英語科目については、前後期各1単位、合計2単位まで履修できる。</p> <p>(b)保健体育科目 2単位必修(「健康運動実習Ⅰ」1単位、「健康運動実習Ⅱ」1単位)</p> <p>※編入学生については、「スポーツ実習」の単位で代えることができる。</p> <p>2. 教養科目群 18単位以上</p> <p>なお、基礎科目群で12単位を超過した単位は教養科目群の単位に代えることができる。</p> <p>【工学部専門教育科目】80単位以上</p> <p>3. 基幹科目群 42単位以上(下記を含む)</p> <p>(a)基幹必修科目 29単位(必修)</p> <p>(b)基幹発展科目 13単位以上</p> <p>4. 専門科目群 38単位以上(下記を含む)</p> <p>専門基礎科目、専門応用科目から38単位以上(下記を含む)</p> <p>(a)「コンピュータデザイン演習(PBL)」、「ユーザー指向開発演習(PBL)」、「社会改善起業演習(PBL)」から2科目4単位以上選択必修</p> <p>(b)「プレゼミナル」2単位必修</p> <p>(c)「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」、「卒業研究Ⅲ」各3単位 計9単位必修</p> <p>5. 卒業単位 124単位以上</p> <p>上記教養教育科目30単位以上、工学部専門教育科目80単位以上を含め、124単位以上を卒業要件とする。</p> <p>なお、他学部開講科目及び他大学開講科目で履修を許可され修得した単位については、卒業要件に算入できるのは14単位以内とする。</p> <p>(履修科目の登録上限 48単位(年間))</p>

卒業要件及び履修方法
<p>【教養教育科目】30単位以上</p> <p>1. 基礎科目群 12単位以上(下記を含む)</p> <p>(a)外国語科目 8単位必修(英語、ドイツ語、フランス語、中国語から8単位。ただし、英語は4単位以上)</p> <p>※各英語科目については、前後期各1単位、合計2単位まで履修できる。</p> <p>(b)保健体育科目 2単位必修(「健康運動実習Ⅰ」1単位、「健康運動実習Ⅱ」1単位)</p> <p>※編入学生については、「スポーツ実習」の単位で代えることができる。</p> <p>2. 教養科目群 18単位以上</p> <p>なお、基礎科目群で12単位を超過した単位は教養科目群の単位に代えることができる。</p> <p>【工学部専門教育科目】80単位以上</p> <p>3. 基幹科目群 42単位以上(下記を含む)</p> <p>(a)基幹必修科目 29単位(必修)</p> <p>(b)基幹発展科目 13単位以上</p> <p>4. 専門科目群 38単位以上(下記を含む)</p> <p>専門基礎科目、専門応用科目から38単位以上(下記を含む)</p> <p>(a)「コンピュータデザイン演習(PBL)」、「ユーザー指向開発演習(PBL)」、「社会改善起業演習(PBL)」から2科目4単位以上選択必修</p> <p>(b)「プレゼミナル」2単位必修</p> <p>(c)「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」、「卒業研究Ⅲ」各3単位 計9単位必修</p> <p>5. 卒業単位 124単位以上</p> <p>上記教養教育科目30単位以上、工学部専門教育科目80単位以上を含め、124単位以上を卒業要件とする。</p> <p>なお、他学部開講科目及び他大学開講科目で履修を許可され修得した単位については、卒業要件に算入できるのは14単位以内とする。</p> <p>(履修科目の登録上限 48単位(年間))</p>

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ①-②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

<p>・ 教育課程充実のため、教養教育科目に以下の科目を追加。</p> <p>「中国語検定初級Ⅰ」「中国語検定初級Ⅱ」「中国語検定中級Ⅰ」「中国語検定中級Ⅱ」「スペイン語初級Ⅰ」「スペイン語初級Ⅱ」「スペイン語中級Ⅰ」「スペイン語中級Ⅱ」「ロシア語初級Ⅰ」「ロシア語初級Ⅱ」「ロシア語中級Ⅰ」「ロシア語中級Ⅱ」「韓国語初級Ⅰ」「韓国語初級Ⅱ」「韓国語中級Ⅰ」「韓国語中級Ⅱ」「考える力をみがく」「諸学への誘い」「部落史と部落問題」「ベトナムの言語と文化」「哲学の歴史」「現代宗教学への招待」「私の科学への招待」「社会と文化の心理学」「西洋の言語と文化」「西洋の美と芸術」「音楽概説」「地域の人と暮らし」「自然環境の地理学」「奈良と教育—ここはどこ?私は誰?—」「文化と民族」「法学」「政治学」「国際関係論」「経済学」「女性リーダー論」「女性リーダーシップ演習」「奈良を知る」「社会に出るまでに知っておきたい科学Ⅰ」「教養としての自然科学Ⅰ」「教養としての自然科学Ⅱ」「アメリカ学生研修SEASoN」「数学入門」「教養としての化学教学」「ジェンダー生理学」「固体地球環境学入門」「科学史」「生活と色彩」「ベーシックサイエンスⅠ」「ベーシックサイエンスⅡ」</p> <p>・ 教育課程充実のため、専門教育科目に「生体力学」「電気化学」を追加。</p> <p>・ 科目内容に則した名称とするため、「古典を読むⅠ」「古典を読むⅡ」を「古典を読むA」「古典を読むB」に変更。</p> <p>・ 科目内容に則した名称とするため、「環境人間工学演習」を「環境人間工学実習」に変更。</p> <p>・ 教育内容の充実を図るため、「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼6」に変更。</p> <p>・ 教育内容の充実を図るため、「プラクティカル・イングリッシュ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼10」に変更。</p> <p>・ 教育内容の充実を図るため、「アカデミック・イングリッシュ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更。</p> <p>・ 教育内容の充実を図るため、「フランス語ⅠB」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更。</p> <p>・ 教育内容の充実を図るため、「中国語Ⅰ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更。</p> <p>・ 教育内容の充実を図るため、「情報処理入門Ⅰ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼3」に変更。</p> <p>・ 教育内容の充実を図るため、「これからの社会で生きるために」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼3」に変更。</p> <p>・ 教育内容の充実を図るため、「バサージュ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼17」に変更。</p> <p>・ 教育内容の充実を図るため、「アジア学入門」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼8」に変更。</p> <p>・ 教育内容の充実を図るため、「歴史学」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼3」に変更。</p> <p>・ 教育内容の充実を図るため、「人類学」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼9」に変更。</p> <p>・ 教育内容の充実を図るため、「環太平洋くろしお文化論」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼6」に変更。</p> <p>・ 教育内容の充実を図るため、「人権と差別」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼7」に変更。</p> <p>・ 教育内容の充実を図るため、「ジェンダー論入門」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼7」に変更。</p> <p>・ 教育内容の充実を図るため、「なら学」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼8」に変更。</p> <p>・ 教育内容の充実を図るため、「共生科学」の専任教員等の配置を、「教授1」から「教授1、兼4」に変更。</p> <p>・ 教育内容の充実を図るため、「生活の中の物理学」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更。</p> <p>・ 教育内容の充実を図るため、「健康・スポーツ科学」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼6」に変更。</p> <p>・ 教育内容の充実を図るため、「生命・運動・健康」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼5」に変更。</p> <p>・ 学生の受講便宜を図るため、「ことばのしくみ」を「後期」から「前期」に変更。</p> <p>・ 担当教員の昇任により、「人体科学」の専任教員等の配置を、「教授1、准教授1、助教1」から「教授2、講師1」に変更。</p> <p>・ 担当教員の昇任により、「電子工学」の専任教員等の配置を、「講師1」から「准教授1」に変更。</p> <p>・ 担当教員の昇任により、「計測工学概論」の専任教員等の配置を、「講師1」から「准教授1」に変更。</p> <p>・ 担当教員の昇任により、「造形基礎演習Ⅰ」の専任教員等の配置を、「教授2、准教授1」から「教授3」に変更。</p> <p>・ 担当教員の昇任により、「エンジニアリング演習(PBL)」の専任教員等の配置を、「教授1、講師1」から「教授1、准教授1」に変更。</p> <p>・ 担当教員の昇任により、「価値創造体験演習(PBL)」の専任教員等の配置を、「教授1、准教授1、兼1」から「教授2、兼1」に変更。</p> <p>・ 担当教員の昇任により、「造形基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を、「教授1、准教授1、兼2」から「教授2、兼2」に変更。</p> <p>・ 担当教員の昇任により、「センサ工学」の専任教員等の配置を、「教授1、講師1」から「教授1、准教授1」に変更。</p> <p>・ 担当教員の昇任により、「医学概論」の専任教員等の配置を、「教授1、准教授1」から「教授2」に変更。</p> <p>・ 担当教員の昇任により、「認知神経科学」の専任教員等の配置を、「准教授1」から「教授1」に変更。</p> <p>・ 担当教員の昇任により、「生体計測基礎実習」の専任教員等の配置を、「教授2、准教授1、助教1」から「教授3、講師1」に変更。</p> <p>・ 担当教員の昇任により、「都市・建築デザイン学」の専任教員等の配置を、「准教授1」から「教授1」に変更。</p> <p>・ 担当教員の昇任により、「コンピュータデザイン演習(PBL)」の専任教員等の配置を、「教授1、准教授1、兼1」から「教授2、兼1」に変更。</p> <p>・ 担当教員の昇任により、「社会改善起業演習(PBL)」の専任教員等の配置を、「教授1、准教授1、兼2」から「教授2、兼2」に変更。</p> <p>・ 担当教員の昇任により、「五感情報設計演習」の専任教員等の配置を、「講師1」から「准教授1」に変更。</p> <p>・ 担当教員の昇任により、「ヘルスプロモーション」の専任教員等の配置を、「准教授1」から「教授1」に変更。</p> <p>・ 担当教員の昇任により、「ヒューマンキネティクス」の専任教員等の配置を、「助教1」から「講師1」に変更。</p> <p>・ 担当教員の昇任により、「生体医学演習」の専任教員等の配置を、「教授1、准教授1、助教1」から「教授2、講師1」に変更。</p> <p>・ 担当教員の昇任により、「建築都市発展演習Ⅰ」及び「建築都市発展演習Ⅱ」の専任教員等の配置を、「教授1、准教授1」から「教授2」に変更。</p> <p>・ 担当教員の採用により、「物理化学」の専任教員等の配置を、「教授1」から「准教授1」に変更。</p> <p>・ 担当教員の採用及び昇任により、「プレゼミナル」の専任教員等の配置を、「教授8、准教授3、講師2、助教1」から「教授10、准教授3、講師2」に変更。</p> <p>・ 担当教員の採用及び昇任により、「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」、「卒業研究Ⅲ」の専任教員等の配置を、「教授8、准教授3、講師2、助教1」から「教授10、准教授3、講師2」に変更。</p> <p>・ 実習先での受け入れ可能人数変更に伴う授業回数(15回から8回へ)変更のため、「先端設計生産工学実習Ⅰ」の単位数を「2」から「1」へ変更。</p>

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容 (配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度 (令和2年度開設であれば令和元年度) の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
28 科目	124 科目	0 科目	152 科目	28 科目 [0]	176 科目 [52]	0 科目 [0]	204 科目 [52]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	ことばと文化	2	1	一般	選択	隔年開講のため
2	考古科学ゼミ	2	1	一般	選択	隔年開講のため
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目について、教養教育科目における選択科目であることから卒業要件としても特段の影響はなく、また隔年で開講することとし在学中の受講機会を確保できていることから学生への影響は無い。これについて、履修ガイドにて学生へ周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{152} = \boxed{1.31}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 その他には附属学校等 敷地を含む。					
	校舎敷地	66,081㎡	0㎡	0㎡	66,081㎡						
	運動場用地	10,179㎡	0㎡	0㎡	10,179㎡						
	小 計	76,260㎡	0㎡	0㎡	76,260㎡						
	そ の 他	104,050㎡	0㎡	0㎡	104,050㎡						
	合 計	180,310㎡	0㎡	0㎡	180,310㎡						
(2) 校 舎	専 用	59,979 59,605㎡ (59,605㎡)	0㎡	0㎡	59,979 59,605㎡ (59,605㎡)	大学全体 新築したため(4)					
	共 用										
(3) 教 室 等	講 義 室	41室	演 習 室	58室	実験実習室	147室	情報処理学習施設	6室 (補助職員 0人)	語学学習施設	4室 (補助職員 0人)	大学全体
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数		(例)				
	工学部 工学科				16 -5		室 (4)				
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械・器 具	標 本				
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル							
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点					
	工学部	597,704 [162,389] 586,458 [160,602] (597,704 [162,389]) (586,458 [160,602])	18,969 [6,349] 18,246 [6,385] (18,969 [6,349]) (18,246 [6,385])	3,703 [3,703] 3,751 [3,751] (3,703 [3,703]) (3,751 [3,751])	11,226 11,148 (11,226) (11,148)	1,563 1,447 (1,563) (1,447)	161 (161)	学部単位での特定が不 能なため、大学全体の 数			
計	597,704 [162,389] 586,458 [160,602] (597,704 [162,389]) (586,458 [160,602])	18,969 [6,349] 18,246 [6,385] (18,969 [6,349]) (18,246 [6,385])	3,703 [3,703] 3,751 [3,751] (3,703 [3,703]) (3,751 [3,751])	11,226 11,148 (11,226) (11,148)	1,563 1,447 (1,563) (1,447)	161 (161)	図書等の新規受入並びに 廃棄のため(4)				
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体				
	4,523㎡		175 159		509,831 488,253		改修工事に伴い、閲覧 席・書架を増設した。 (4)				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要								
	1,822㎡		テニスコート3面				弓道場				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による			
		教員1人当り研究費等	-	-	図書購入費	-	-				
	共同研究費等	-	-	設備購入費	-	-	-				
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		-	-	-	-	-	-				
学生納付金以外の維持方法の概要		-									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	奈良女子大学					学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備 考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
<学部>											
文学部						1.06	1.03	-	昭和24	奈良県奈良市北魚屋西町	学部で一括募集しているため、学科別入学者数は定員で按分し算出している。
人文社会学科	4	60	-	240	学士(文学)	1.06	1.03	-	平成7	同上	
言語文化学科	4	50	-	200	学士(文学)	1.06	1.03	-	平成7	同上	
人間科学科	4	40	-	160	学士(文学)	1.06	1.03	-	平成7	同上	
(学部共通)			3年次 16	32		-	-	-			
理学部						1.07	1.10	-	昭和28	奈良県奈良市北魚屋西町	
数物科学科	4	57	-	228	学士(理学)	1.07	1.09	-	平成26	同上	
化学生物環境学科	4	78	-	312	学士(理学)	1.08	1.12	-	平成26	同上	
(学部共通)			3年次 10	20		-	-				
生活環境学部						1.09	1.11	-	平成5		
食物栄養学科	4	35	-	140	学士(生活環境学)	1.09	1.03	-	平成17	奈良県奈良市北魚屋西町	
心身健康学科	4	35	-	140	学士(生活環境学)	1.10	1.11	-	平成26	同上	
情報衣環境学科	4	-	-	-	学士(生活環境学)	-	-	-	平成26	同上	
住環境学科	4	30	-	120	学士(生活環境学)	1.10	1.17	-	平成18	同上	
生活文化学科	4	-	-	-	学士(生活環境学)	-	-	-	平成18	同上	
文化情報学科	4	30	-	120	学士(生活環境学)	1.10	1.10	-	令和4	同上	
生活文化学コース	4	15	-	60	学士(生活環境学)	1.20	1.20	-	令和4	同上	
文化情報学科	4	15	-	60	学士(生活環境学)	1.20	1.20	-	令和4	同上	
生活情報通信科学コース	4	15	-	60	学士(生活環境学)	1.20	1.20	-	令和4	同上	
(学部共通) (食物栄養学除く)			3年次 4	8		-	-				
工学部									令和4	奈良県奈良市北魚屋西町	
工学科	4	45	-	180	学士(工学)	1.07	1.07	-	令和4	同上	
(学部共通)			3年次 10	20		-	-				
大学全体	4	475	40	1980		1.07	1.08				

大学の名称	奈良女子大学大学院					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	2	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
<大学院>											
人間文化総合科学研究科								-	昭和56	奈良県奈良市北魚屋西町	令和2年度から名称変更
人文社会学専攻(博士前期課程)	2	24	-	48	修士(文学)	0.44	0.25	-	平成10	同上	
言語文化学専攻(博士前期課程)	2	18	-	36	修士(文学)	0.73	0.67	-	平成10	同上	
人間科学専攻(博士前期課程)	2	12	-	24	修士(文学)	1.00	1.08	-	平成30	同上	
食物栄養学専攻(博士前期課程)	2	13	-	26	修士(学術)						
					修士(生活環境)	0.89	1.00	-	平成19	同上	
					修士(家政学)						
					修士(学術)						
心身健康学専攻(博士前期課程)	2	22	-	44	修士(生活環境)	0.82	0.86	-	平成30	同上	
					修士(家政学)						
					修士(学術)						
情報環境学専攻(博士前期課程)	2	10	-	20	修士(生活環境)	1.15	1.30	-	平成30	同上	
					修士(家政学)						
					修士(生活工学)						
生活工学共同専攻(博士前期課程)	2	7	-	14	修士(工学)	1.86	1.57	-	平成28	同上	
					修士(学術)						
住環境学専攻(博士前期課程)	2	13	-	26	修士(生活環境)	1.35	1.38	-	平成19	同上	
					修士(家政学)						
					修士(学術)						
生活文化学専攻(博士前期課程)	2	9	-	18	修士(生活環境)	0.39	0.44	-	平成19	同上	
					修士(家政学)						
					修士(理学)						
数物科学専攻(博士前期課程)	2	28	-	56	修士(学術)	1.20	1.21	-	平成30	同上	
化学生物環境学専攻(博士前期課程)	2	42	-	84	修士(理学)	1.02	1.14	-	平成30	同上	
					修士(学術)						
大学院全体(博士前期課程)	2	198		396		0.94	0.96	-			
人文科学専攻(博士後期課程)	3	12	-	36	博士(文学)	0.41	0.33		令和2	同上	
					博士(社会科学)						
					博士(学術)						
					博士(理学)						
生活環境科学専攻(博士後期課程)	3	14	-	42	博士(社会科学)	0.28	0.21		令和2	同上	
					博士(生活環境学)						
					博士(情報科学)						
					博士(学術)						
自然科学専攻(博士後期課程)	3	10	-	30	博士(理学)	0.53	0.60		令和2	同上	
					博士(学術)						
生活工学共同専攻(博士後期課程)	3	2	-	6	博士(生活工学)	0.50	0.00		平成28	同上	
					博士(工学)						
					博士(学術)						
大学院全体(博士後期課程)	3	38	-	114		0.40	0.34				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 工学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長) (学科長)	フタメイ 藤田 盟児 (62) <令和4年4月> 博士(工学)
		創造とデザインの理論 造形基礎演習Ⅰ※ 批判的思考Ⅰ 批判的思考Ⅱ プレゼミナール 社会改善起業演習(PBL) 建築都市発展演習Ⅰ 建築都市発展演習Ⅱ 芸術文化発展演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	教授	ホコ ヒロ 久保 博子 (61) <令和4年4月> 博士(学術)
		人間工学 感性工学 生体計測基礎実習※ 建築環境工学 プレゼミナール ユーザー指向開発演習(PBL) 環境人間工学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	教授	カス ヒロミ 黒子 弘道 (59) <令和4年4月> 工学博士
		物理化学 高分子構造 プレゼミナール 高分子材料学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	教授	コマヤ(アヅ) ショウイチ 駒谷(足穂) 昇一 (61) <令和4年4月> 工学士
		エンジニアリングビジネス概論 情報ビジネス エンジニアリングビジネス演習 プロジェクト・マネジメント プレゼミナール ユーザー指向開発演習(PBL) プロジェクト・デザイン演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長) (学科長)	フタメイ 藤田 盟児 (62) <令和4年4月> 博士(工学)
		創造とデザインの理論 造形基礎演習Ⅰ※ 批判的思考Ⅰ 批判的思考Ⅱ プレゼミナール 社会改善起業演習(PBL) 建築都市発展演習Ⅰ 建築都市発展演習Ⅱ 芸術文化発展演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	教授	ホコ ヒロ 久保 博子 (61) <令和4年4月> 博士(学術)
		人間工学 感性工学 生体計測基礎実習※ 建築環境工学 プレゼミナール ユーザー指向開発演習(PBL) 環境人間工学 実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	教授	カス ヒロミ 黒子 弘道 (59) <令和4年4月> 工学博士
		高分子構造 プレゼミナール 高分子材料学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	教授	コマヤ(アヅ) ショウイチ 駒谷(足穂) 昇一 (61) <令和4年4月> 工学士
		エンジニアリングビジネス概論 情報ビジネス エンジニアリングビジネス演習 プロジェクト・マネジメント プレゼミナール ユーザー指向開発演習(PBL) プロジェクト・デザイン演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	才脇 直樹 (56) <令和4年4月> 博士(工学)
		エンジニアリング演習(PBL) アナログ回路 デジタル回路 技術史※ センサ工学※ メディア工学演習 信頼性工学※ プレゼミナール ヒューマンインターフェース演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	教授	芝崎 学 (52) <令和4年4月> 博士(学術)
		人体科学※ 生体基礎※ 基礎生理学 医工学概論※ 生体計測基礎実習※ プレゼミナール 生体機能学 生体医工学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	教授	長谷 圭城 (50) <令和4年4月> 修士(美術)
		造形基礎演習Ⅰ※ 価値創造体験演習(PBL) 造形基礎演習Ⅱ※ コンセプトアルデザイン演習(PBL) プロダクトデザイン演習 芸術文化発展演習※
専	教授	三方 裕司 (56) <令和4年4月> 博士(理学)
		共生科学 化学の常識 化学基礎 有機化学 無機化学 有機・無機化学実験 プレゼミナール 有機工業化学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	教授	吉田 哲也 (53) <令和4年4月> 博士(工学)
		応用線形代数 多変量解析 パターン認識 信頼性工学※ プレゼミナール 関係データ分析 ヒューマンインターフェース演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	才脇 直樹 (56) <令和4年4月> 博士(工学)
		エンジニアリング演習(PBL) アナログ回路 デジタル回路 技術史※ センサ工学※ メディア工学演習 信頼性工学※ プレゼミナール ヒューマンインターフェース演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	教授	芝崎 学 (52) <令和4年4月> 博士(学術)
		人体科学※ 生体基礎※ 基礎生理学 医工学概論※ 生体計測基礎実習※ プレゼミナール 生体機能学 生体医工学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	教授	長谷 圭城 (50) <令和4年4月> 修士(美術)
		造形基礎演習Ⅰ※ 価値創造体験演習(PBL) 造形基礎演習Ⅱ※ コンセプトアルデザイン演習(PBL) プロダクトデザイン演習 芸術文化発展演習※
専	教授	三方 裕司 (56) <令和4年4月> 博士(理学)
		共生科学 化学の常識 化学基礎 有機化学 有機・無機化学実験 プレゼミナール 有機工業化学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	教授	吉田 哲也 (53) <令和4年4月> 博士(工学)
		応用線形代数 多変量解析 パターン認識 信頼性工学※ プレゼミナール 関係データ分析 ヒューマンインターフェース演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	材村 一効 大背戸 豊 (49) <令和4年4月> 博士(工学)
		物理化学実験 機器分析化学 応用物理化学実験 プレゼミナール 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	准教授	中田 大貴 (43) <令和4年4月> 博士(理学)
		人体科学※ 医工学概論※ 認知神経科学 生体計測基礎実習※ プレゼミナール ヘルスプロモーション 生体医工学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	准教授	長田 直之 (54) <令和4年4月> 工学士
		造形基礎演習Ⅰ※ 価値創造体験演習(PBL) 造形基礎演習Ⅱ※ 都市・建築デザイン学 プレゼミナール コンセプトデザイン演習(PBL) 社会改善起業演習(PBL) 建築都市発展演習Ⅰ 建築都市発展演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	講師	アンザイ(ハヅメ) エミ 安在(橋詰) 絵美 (32) <令和4年4月> 博士(理学)
		プログラミング基礎 プログラミング実践 生活支援と福祉工学 プレゼミナール 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	材村 一効 大背戸 豊 (49) <令和4年4月> 博士(工学)
		機器分析化学 応用物理化学実験 プレゼミナール 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	教授	中田 大貴 (43) <令和4年4月> 博士(理学)
		人体科学※ 医工学概論※ 認知神経科学 生体計測基礎実習※ プレゼミナール ヘルスプロモーション 生体医工学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	教授	長田 直之 (54) <令和4年4月> 工学士
		造形基礎演習Ⅰ※ 価値創造体験演習(PBL) 造形基礎演習Ⅱ※ 都市・建築デザイン学 プレゼミナール コンセプトデザイン演習(PBL) 社会改善起業演習(PBL) 建築都市発展演習Ⅰ 建築都市発展演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	准教授	ヤマモト ケンタロウ 山本 健太郎 (34) <令和4年4月> 博士(人間・環境工学)
		物理化学 物理化学実験 無機化学 プレゼミナール 電気化学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	講師	アンザイ(ハヅメ) エミ 安在(橋詰) 絵美 (32) <令和4年4月> 博士(理学)
		プログラミング基礎 プログラミング実践 生活支援と福祉工学 プレゼミナール 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	サトウ カツリ 佐藤 克成 (38) <令和4年4月> 博士(情報理工学)
		電子工学 計測工学概論 エンジニアリング演習(PBL) センサ工学※ プレゼミナール 五感情報設計演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	助教	材高 千明 大高 千明 (32) <令和4年4月> 博士(学術)
		人体科学※ 生体計測基礎実習※ プレゼミナール ヒューマンキネティクス 生体医工学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
兼任	教授	アマガセ マサヒコ 天ヶ瀬 正博 (57) <令和4年4月> 文学修士※
		批判的思考Ⅰ 批判的思考Ⅱ
兼任	教授	イノウエ ヨシ子 井上 洋一 (64) <令和4年4月> 体育学修士
		健康運動実習Ⅰ 健康運動実習Ⅱ スポーツ実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	サトウ カツリ 佐藤 克成 (38) <令和4年4月> 博士(情報理工学)
		電子工学 計測工学概論 エンジニアリング演習(PBL) センサ工学※ プレゼミナール 五感情報設計演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	講師	材高 千明 大高 千明 (32) <令和4年4月> 博士(学術)
		人体科学※ 生体力学 生体計測基礎実習※ プレゼミナール ヒューマンキネティクス 生体医工学演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
兼任	教授	アマガセ マサヒコ 天ヶ瀬 正博 (57) <令和4年4月> 文学修士※
		批判的思考Ⅰ 批判的思考Ⅱ
兼任	教授	イワカチ コノ 市川 千恵子 (58) <令和4年4月> 博士(人文科学)
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ アカデミック・イングリッシュ
兼任	教授	イノウエ ヨシ子 井上 洋一 (64) <令和4年4月> 体育学修士
		スポーツ実習 健康・スポーツ科学
兼任	教授	ウチノダ 忠賢 内田 忠賢 (63) <令和4年4月> 文学修士
		パサージュ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	材比 野 大平 幸代 (53) <令和4年4月> 博士(文学)
		中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	教授	カワ ヒデミ 小川 英巳 (65) <令和4年4月> 理学博士
		「奈良」女子大学入門
兼任	教授	サイウ ミ 齊藤 美和 (54) <令和4年4月> 博士(文学)
		プラクティカル・イングリッシュ
兼任	教授	サイキ カズヒコ 佐伯 和彦 (64) <令和4年4月> 理学博士
		環境と生物

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	材比 野 大平 幸代 (53) <令和4年4月> 博士(文学)
		中国語Ⅲ 中国語Ⅳ アジア学入門
兼任	教授	カワ ノブヒコ 小川 伸彦 (59) <令和4年4月> 文学修士
		諸学への誘い 人権と差別
兼任	教授	カウ ヤスリ 小倉 裕範 (55) <令和4年4月> 医学博士
		パサージュ
兼任	教授	コハヤシ ユウジ 小林 毅 (63) <令和4年4月> 理学博士
		教養としての自然科学A 教養としての自然科学B 数学入門
兼任	教授	サイウ ミ 齊藤 美和 (54) <令和4年4月> 博士(文学)
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ プラクティカル・イングリッシュ
兼任	教授	サイキ カズヒコ 佐伯 和彦 (64) <令和4年4月> 理学博士
		パサージュ 環境と生物
兼任	教授	サイイ アツシ 酒井 敦 (55) <令和4年4月> 博士(理学)
		共生科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	ジヨウ カズキ 城 和貴 (63) <令和4年4月> 博士(工学)
		情報処理入門Ⅱ
兼担	教授	シロミ 倫生 白水 倫生 (58) <令和4年4月> 博士(医学)
		いのちと健康 生活と健康
兼担	教授	スズキ ヒロミツ 鈴木 広光 (57) <令和4年4月> 文学修士
		古典を読むⅠ 古典を読むⅡ
兼担	教授	タカオ ナコ 高岡 尚子 (57) <令和4年4月> 博士(文学)
		フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	シダ マサト 篠田 正人 (52) <令和4年4月> 博士(数理学)
		諸学への誘い
兼担	教授	ジヨウ カズキ 城 和貴 (63) <令和4年4月> 博士(工学)
		情報処理入門Ⅱ
兼担	教授	シロミ 倫生 白水 倫生 (58) <令和4年4月> 博士(医学)
		いのちと健康 生活と健康
兼担	教授	スズキ アユミ 須賀 あゆみ (56) <令和4年4月> 博士(文学)
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ プラクティカル・イングリッシュ アカデミック・イングリッシュ
兼担	教授	スズキ コウシ 鈴木 康史 (55) <令和4年4月> 博士(体育科学)
		パサージュ
兼担	教授	スズキ ヒロミツ 鈴木 広光 (57) <令和4年4月> 文学修士
		古典を読むA 古典を読むB 諸学への誘い パサージュ
兼担	教授	ゼン イ 全有耳 (50) <令和4年4月> 博士(医学)
		諸学への誘い
兼担	教授	タカオ ナコ 高岡 尚子 (57) <令和4年4月> 博士(文学)
		フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ ジェンダー論入門
兼担	教授	タカノ フサオ 高須 夫悟 (55) <令和4年4月> 博士(理学)
		パサージュ アジア学入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	テラカ ショウ 寺岡 伸悟 (57) <令和4年4月> 博士(文学)
		なら学 なら学+ (プラス) 批判的思考 I
兼担	教授	ナレ クミ 成瀬 九美 (60) <令和4年4月> 博士(学術)
		健康・スポーツ科学
兼担	教授	ニシテ ヨシオ 西出 良郎 (61) <令和4年4月> 文学修士
		アカデミック・イングリッシュ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	タカダ マサシ 高田 将志 (62) <令和4年4月> 理学修士
		人類史 自然環境の地理学 共生科学
兼担	教授	タカハシ トモヒコ 高橋 智彦 (53) <令和4年4月> 博士(理学)
		教養としての自然科学A 教養としての自然科学B
兼担	教授	タケモト リアキ 竹本 憲昭 (59) <令和4年4月> 文学修士
		プラクティカル・イングリッシュ コンプリヘンシブ・イングリッシュ
兼担	教授	テラカ ショウ 寺岡 伸悟 (57) <令和4年4月> 博士(文学)
		なら学 なら学+ (プラス) 生命・運動・健康 批判的思考 I
兼担	教授	ナカヅワ シズオ 中澤 静男 (62) <令和4年4月> 教育学修士
		諸学への誘い
兼担	教授	ナカシマ タケキ 中島 隆行 (51) <令和4年4月> 博士(工学)
		パサーージュ
兼担	教授	ナレ クミ 成瀬 九美 (60) <令和4年4月> 博士(学術)
		健康・スポーツ科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	ニシヤチ セ化 西谷地 晴美 (63) <令和4年4月> 博士(文学)
		人類史 環太平洋くろしお文化論 批判的思考Ⅰ 批判的思考Ⅱ
兼担	教授	ミヅガキ ゲンタロウ 水垣 源太郎 (54) <令和4年4月> 社会学修士※
		社会学 批判的思考Ⅰ
兼担	教授	ミヤジ (マルヤマ) アツコ 宮路(丸山) 淳子 (54) <令和4年4月> 博士(人間・環境学)
		考古科学ゼミ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	ニシムラ ヲウイチロウ 西村 雄一郎 (51) <令和4年4月> 博士(地理学)
		アジア学入門 地域のひと暮らし
兼担	教授	ニシヤチ セ化 西谷地 晴美 (63) <令和4年4月> 博士(文学)
		人類史 環太平洋くろしお文化論 なら学 批判的思考Ⅰ 批判的思考Ⅱ
兼担	教授	ネト テヲ 根本 哲夫 (53) <令和4年4月> 博士(学術)
		パサージュ
兼担	教授	ハヤシダ トシコ 林田 敏子 (50) <令和4年4月> 博士(文学)
		ジェンダー論入門 女性リーダー論
兼担	教授	フジヒラ マキコ 藤平 真紀子 (53) <令和4年4月> 博士(学術)
		共生科学
兼担	教授	マーク スコット Mark Scott (62) <令和4年4月> PhD, English (米国)
		プラクティカル・イングリッシュ
兼担	教授	ミヅガキ ゲンタロウ 水垣 源太郎 (54) <令和4年4月> 社会学修士※
		語学への誘い なら学 批判的思考Ⅰ
兼担	教授	ミヤジ (マルヤマ) アツコ 宮路(丸山) 淳子 (54) <令和4年4月> 博士(人間・環境学)
		考古科学ゼミ【隔年】 人類史
兼担	教授	ミヤバヤシ ケンキチ 宮林 謙吉 (55) <令和4年4月> 博士(理学)
		パサージュ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	ムトウ ヤスヒロ 武藤 康弘 (63) <令和4年4月> 博士(文学)
		アジア学入門
兼任	教授	ヤギサワ ユウゴ 柳澤 有吾 (60) <令和4年4月> 文学修士※
		現代の倫理 人権と差別
兼任	教授	ヨシカミ ヒデオ 吉岡 英生 (57) <令和4年4月> 文学修士※
		生活の中の物理学
兼任	教授	ヨシダ タカオ 吉田 孝夫 (53) <令和4年4月> 博士(文学)
		ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	ムトウ ヤスヒロ 武藤 康弘 (63) <令和4年4月> 博士(文学)
		アジア学入門 文化と民族 なら学
兼任	教授	ムラマツ カノ 村松 加奈子 (58) <令和4年4月> 博士(理学)
		共生科学
兼任	教授	モリトウ シンヤ 森藤 紳哉 (53) <令和4年4月> 博士(数理科学)
		パサーージュ
兼任	教授	ヤギサワ ユウゴ 柳澤 有吾 (60) <令和4年4月> 文学修士※
		人権と差別
兼任	教授	ヤマシタ ヤスシ 山下 靖 (55) <令和4年4月> 博士(理学)
		社会に出るまでに知っておきたい科学Ⅰ ベーシックサイエンスⅠ ベーシックサイエンスⅡ
兼任	教授	ヤマモト カズキ 山本 一樹 (56) <令和4年4月> 博士(工学)
		教養としての自然科学A 教養としての自然科学B
兼任	教授	ユサ ヨウイチ 遊佐 陽一 (56) <令和4年4月> 博士(理学)
		教養としての自然科学A 教養としての自然科学B
兼任	教授	ヨシカミ ヒデオ 吉岡 英生 (57) <令和4年4月> 文学修士※
		生活の中の物理学
兼任	教授	ヨシダ タカオ 吉田 孝夫 (53) <令和4年4月> 博士(文学)
		ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	ヨシムラ(スキウラ)アキコ 吉村 あき子 (杉浦 哲子) (62) <令和4年4月> 博士(文学)
		ことばと文化【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	ヨシダ ヨコ 吉田 容子 (58) <令和4年4月> 博士(文学)
		ジェンダー論入門
兼任	教授	ヨシムラ トモカズ 吉村 倫一 (48) <令和4年4月> 博士(工学)
		教養としての化学数学
兼任	教授	ヨシムラ(スキウラ)アキコ 吉村 あき子 (杉浦 哲子) (62) <令和4年4月> 博士(文学)
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ プラクティカル・イングリッシュ ことばと文化【隔年】
兼任	特任教授	イヌブシ マサ 犬伏 雅士 (62) <令和4年4月> 工学士
		社会に出るまでに知っておきたい科学 I
兼任	特任教授	イダモト ミコ 伊達 桃子 (56) <令和4年4月> 文学修士
		プラクティカル・イングリッシュ
兼任	准教授	アサダ ハルヒサ 浅田 晴久 (41) <令和4年4月> 博士(地域研究)
		アジア学入門 なら学
兼任	准教授	アノトウ(チカセ)カサ 安藤(長瀬)香織 (50) <令和4年4月> 博士(心理学)
		パサージュ
兼任	准教授	イサガ ヲサシ 石坂 友司 (46) <令和4年4月> 博士(体育科学)
		健康・スポーツ科学
兼任	准教授	イノウエ 邦子 井上 邦子 (53) <令和4年4月> 博士(体育科学)
		諸学への誘い
兼任	准教授	イワグチ シンイチ 岩口 伸一 (59) <令和4年4月> 医学博士
		パサージュ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	材ツカ ヒロシ 大塚 浩 (53) <令和4年4月> 法学修士※
		日本国憲法
兼担	准教授	オノデラ カリ 小野寺 香 (36) <令和4年4月> 博士(教育学)
		パサーージュ
兼担	准教授	オヤマ シン 尾山 慎 (46) <令和4年4月> 博士(文学)
		日本の言語と文学
兼担	准教授	コンノ ヒロキ 今野 弘章 (45) <令和4年4月> 博士(言語学)
		プレゼンテーション・イングリッシュ ことばのしくみ【隔年】
兼担	准教授	サトウ(カワシマ) ユキコ 佐藤(川島)有希子 (39) <令和4年4月> 博士(文学)
		日本の美と芸術
兼担	准教授	チノ ハルヒコ 千田 春彦 (61) <令和4年4月> 文学修士
		ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	材ツカ ヒロシ 大塚 浩 (53) <令和4年4月> 法学修士※
		日本国憲法 人権と差別
兼担	准教授	オノデラ カリ 小野寺 香 (36) <令和4年4月> 博士(教育学)
		奈良と教育—ここはどこ？私は誰？—
兼担	准教授	オヤマ シン 尾山 慎 (46) <令和4年4月> 博士(文学)
		日本の言語と文学
兼担	准教授	カモ ヒロユキ 鴨 浩靖 (57) <令和4年4月> 博士(情報学)
		情報処理入門Ⅰ
兼担	准教授	キヤマ タカ 北山 聡佳 (36) <令和4年4月> 修士(人間・環境学)
		諸学への誘い
兼担	准教授	カワカミ(カガリ) ヨシコ 黒川(長田) 薫子 (48) <令和4年4月> 博士(教育学)
		パサーージュ
兼担	准教授	コンノ ヒロキ 今野 弘章 (45) <令和4年4月> 博士(言語学)
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ プラクティカル・イングリッシュ プレゼンテーション・イングリッシュ ことばのしくみ【隔年】
兼担	准教授	サトウ ヒロキ 佐藤 宏明 (62) <令和4年4月> 学術博士
		なら学
兼担	准教授	サトウ(カワシマ) ユキコ 佐藤(川島)有希子 (39) <令和4年4月> 博士(文学)
		日本の美と芸術

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	ナカガワ チホ 中川 千帆 (49) ＜令和4年4月＞ PH.D. (米国)
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ
兼担	准教授	ニイテ ナオキ 新出 尚之 (58) ＜令和4年4月＞ 博士(情報科学)
		情報処理入門 I
兼担	准教授	ニシムラ サトミ 西村 さとみ (58) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		これからの社会で生きるために
兼担	准教授	ホシノ サトコ 星野 聡子 (53) ＜令和4年4月＞ 博士(人間科学)
		生命・運動・健康
兼担	准教授	マエダ マサミ 前田 真砂美 (41) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		中国語 I 中国語 II

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	サカタ カヨ 澤田 佳世 (48) ＜令和4年4月＞ 博士(国際関係学)
		ジェンダー論入門
兼担	准教授	サンベ ミチコ 三部 倫子 (40) ＜令和4年4月＞ 博士(社会科学)
		ジェンダー論入門 社会学
兼担	准教授	スギウラ(マツオ) マユミ 杉浦(松尾) 真由美 (46) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		生命・運動・健康
兼担	准教授	タカシマ ヒロシ 高島 弘 (50) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		パサーージュ
兼担	准教授	ナカガワ チホ 中川 千帆 (49) ＜令和4年4月＞ PH.D. (米国)
		プラクティカル・イングリッシュ
兼担	准教授	ナカヤマ ルミコ 中山 留美子 (40) ＜令和4年4月＞ 博士(心理学)
		諸学への誘い
兼担	准教授	ニイテ ナオキ 新出 尚之 (58) ＜令和4年4月＞ 博士(情報科学)
		情報処理入門 I
兼担	教授	ニシムラ サトミ 西村 さとみ (58) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		「奈良」女子大学入門 環太平洋くろしお文化論 なら学
兼担	教授	ホシノ サトコ 星野 聡子 (53) ＜令和4年4月＞ 博士(人間科学)
		生命・運動・健康 健康・スポーツ科学
兼担	准教授	マエダ マサミ 前田 真砂美 (41) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		中国語 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	ヤシマ ヨシ子 矢島 洋一 (51) <令和4年4月> 博士(文学)
		アラビアの言語と文化
兼任	准教授	ヤマサキ アキコ 山崎 明子 (54) <令和4年4月> 博士(文学)
		ジェンダー論入門
兼任	特任准教授	カガチ シンジ 川口 慎二 (43) <令和4年4月> 博士(理学)
		微分積分 線形代数 確率・統計

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	ヤシマ ヨシ子 矢島 洋一 (51) <令和4年4月> 博士(文学)
		アジア学入門 アラビアの言語と文化 歴史学 環太平洋くろしお文化論
兼任	教授	ヤマサキ アキコ 山崎 明子 (54) <令和4年4月> 博士(文学)
		ジェンダー論入門 生命・運動・健康
兼任	准教授	ノブカワ マサヨシ 信川 正順 (39) <令和4年4月> 博士(理学)
		諸学への誘い
兼任	准教授	マツカ ユキ 松岡 由貴 (53) <令和4年4月> 博士(理学)
		ジェンダー論入門
兼任	准教授	ムロサキ(イフ) ケイ 室崎(稲地) 千重 (47) <令和4年4月> 博士(工学)
		パサーージュ
兼任	准教授	ヤサダ タカシ 保田 卓 (53) <令和4年4月> 修士(教育学)
		人権と差別
兼任	准教授	ヨシカワ ヒロユキ 吉川 尚男 (64) <令和4年4月> 医学博士
		生命・運動・健康
兼任	特任准教授	カガチ シンジ 川口 慎二 (43) <令和4年4月> 博士(理学)
		微分積分 線形代数 確率・統計
兼任	特任准教授	タカトキ ノブミ 高德 希 (40) <令和4年4月> 博士(学術)
		健康・スポーツ科学
兼任	講師	アキモト ミサ 青木 美紗 (37) <令和4年4月> 博士(学術)
		なら学 アジア学入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	助教	田中 希生 (45) <令和4年4月> 博士(歴史学)
		歴史学 批判的思考Ⅰ 批判的思考Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	雲島 知恵 (41) <令和4年4月> 博士(英文学)
		プラクティカル・イングリッシュ アメリカ学生研修SEASoN
兼担	講師	高田 雅美 (44) <令和4年4月> 博士(理学)
		パサージュ
兼担	講師	森田 尋子 (44) <令和4年4月> 修士(学術)
		奈良を知る
兼担	特任講師	大賀 克彦 (52) <令和4年4月> 修士(文学)
		人類史 環太平洋くろしお文化論
兼担	准教授	田中 希生 (45) <令和4年4月> 博士(歴史学)
		人類史 環太平洋くろしお文化論 批判的思考Ⅰ 批判的思考Ⅱ
兼担	助教	浅野 友之 (35) <令和4年4月> 博士(体育科学)
		健康運動実習Ⅰ 健康運動実習Ⅱ 健康・スポーツ科学
兼担	助教	瀬戸 蘭美 (41) <令和4年4月> 理学博士
		教養としての自然科学A 教養としての自然科学B
兼担	助教	野口 克行 (46) <令和4年4月> 博士(理学)
		パサージュ
兼担	助教	蜂谷 崇 (45) <令和4年4月> 博士(理学)
		生活の中の物理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	特任助教	コジタ トシ 小路田 俊子 (35) <令和4年4月> 博士(理学)
		物理基礎
兼任	講師	アキヤマ サキ 秋山 咲恵 (59) <令和4年4月> 法学士
		起業論
兼任	講師	アジロ ヒロハル 網代 広治 (46) <令和4年4月> 博士(工学)
		機能性高分子化学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	イシタ ユキ 盛田 有貴 (32) <令和4年4月> 修士(文学)
		プラクティカル・イングリッシュ
兼任	特任助教	ウエムラ ショウヘイ 上村 尚平 (32) <令和4年4月> 博士(理学)
		アメリカ学生研修SEASoN ベーシックサイエンスⅠ
兼任	特任助教	カイ ユキ 金井 友希美 (31) <令和4年4月> 博士(理学)
		社会に出るまでに知っておきたい科学Ⅰ
兼任	特任助教	コジタ トシ 小路田 俊子 (35) <令和4年4月> 博士(理学)
		アメリカ学生研修SEASoN ベーシックサイエンスⅠ 物理基礎
兼任	特任助教	サイノウ エミ 斉藤 恵美 (40) <令和4年4月> 博士(文学)
		環太平洋くろしお文化論
兼任	特任助教	ハチケ代 ミチ 八ヶ代 美佳 (38) <令和4年4月> 博士(文学)
		社会に出るまでに知っておきたい科学Ⅰ アメリカ学生研修SEASoN
兼任	講師	アキモト ケイコ 青木 恵子 (61) <令和4年4月> 修士(文学)
		健康運動実習Ⅰ 健康運動実習Ⅱ
兼任	講師	アキヤマ サキ 秋山 咲恵 (59) <令和4年4月> 法学士
		起業論
兼任	講師	アソノ ユカ 芦名 裕子 (64) <令和4年4月> 文学修士
		現代宗教学への招待
兼任	講師	アジロ ヒロハル 網代 広治 (46) <令和4年4月> 博士(工学)
		機能性高分子化学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	アサキ イヅ 荒牧 英治 (47) ＜令和4年4月＞ 博士(情報理工学)
		コミュニケーション工学
兼任	講師	イイ カロス 石井カルロス寿憲 (49) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		知能ロボット※ ヒューマンインターフェース演習※
兼任	講師	イグロ ヒロ 石黒 浩 (58) ＜令和4年4月＞ 工学博士
		知能ロボット※ ヒューマンインターフェース演習※
兼任	講師	イトウ タカシ 伊藤 剛和 (55) ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		情報学概論
兼任	講師	イノ ナルホ 入野 成弘 (49) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		先端設計生産工学概論 先端設計生産工学実習 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	アサキ イヅ 荒牧 英治 (47) ＜令和4年4月＞ 博士(情報理工学)
		コミュニケーション工学
兼任	講師	アン リヒ 安 善姫 (46) ＜令和4年4月＞ 博士(政策科学)
		政治学
兼任	講師	イジマ ユウタロウ 飯島 雄太郎 (34) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ
兼任	講師	イイ カロス 石井カルロス寿憲 (49) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		知能ロボット※ ヒューマンインターフェース演習※
兼任	講師	イグロ ヒロ 石黒 浩 (58) ＜令和4年4月＞ 工学博士
		知能ロボット※ ヒューマンインターフェース演習※
兼任	講師	イトウ タカシ 伊藤 剛和 (55) ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		情報学概論
兼任	講師	イトウ レイコ 伊藤 令子 (35) ＜令和4年4月＞ 文学修士
		中国語 I
兼任	講師	イノ ナルホ 入野 成弘 (49) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		先端設計生産工学概論 先端設計生産工学実習 I
兼任	講師	ウツ ノリコ 宇楚 直子 (43) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		西洋の美と芸術
兼任	講師	ウヤマ ミツル 宇山 満 (67) ＜令和4年4月＞ 農学博士
		経済学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	カヅオ ユウシ 梶尾 悠史 (40) <令和4年4月> 博士(文学)
		批判的思考Ⅰ 批判的思考Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	オホノ ミチヨ 大平 美智代 (60) <令和4年4月> 文学修士※
		ロシア語初級Ⅰ ロシア語初級Ⅱ ロシア語中級Ⅰ ロシア語中級Ⅱ
兼任	講師	オサダ アスカ 長田 明日華 (29) <令和4年4月> 博士(文学)
		歴史学
兼任	講師	カミ ナコ 各務 奈緒子 (48) <令和4年4月> 学術修士
		フランス語ⅠB
兼任	講師	カネモト ヨシミ 柿本 佳美 (54) <令和4年4月> 博士(文学)
		フランス語ⅠB 哲学の歴史
兼任	講師	カマキ 郭 真希 (30) <令和4年4月> 修士(韓日科)
		韓国語初級Ⅰ 韓国語初級Ⅱ 韓国語中級Ⅰ 韓国語中級Ⅱ
兼任	講師	カヅオ ユウシ 梶尾 悠史 (40) <令和4年4月> 博士(文学)
		批判的思考Ⅰ 批判的思考Ⅱ
兼任	講師	カイカキ ヤシロ 金井塚 康弘 (65) <令和4年4月> 法学士
		人権と差別
兼任	講師	キタウチ サオリ 北口 紗織 (43) <令和4年4月> PhD(University of Leeds)
		生活と色彩
兼任	講師	カネ イツシ 金 幸隆 (50) <令和4年4月> 博士(理学)
		固体地球環境学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ケニト トシキ 國本 利文 (64) ＜令和4年4月＞ 博士(情報科学)
		技術史※
兼任	講師	クラ (アツシ) ヲサキ 倉(図師)有希 (34) ＜令和4年4月＞ 学士(芸術学)
		造形基礎演習Ⅰ※ 造形基礎演習Ⅱ※
兼任	講師	コバヤシ リュウイチ 小林 龍一 (32) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		先端設計生産工学実習Ⅱ
兼任	講師	カウイ フミトシ 酒井 史敏 (48) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		機械力学
兼任	講師	カサタ (オホキ) カコ 坂下(大関)加代子 (46) ＜令和4年4月＞ 修士(工学)
		造形基礎演習Ⅰ※ 造形基礎演習Ⅱ※ 価値創造体験演習(PBL)
兼任	講師	カマキ タツヒコ 坂巻 匡彦 (43) ＜令和4年4月＞ 修士(工学)
		技術史※
兼任	講師	カキト マサヒコ 坂本 雅彦 (58) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		流体力学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ケニト トシキ 國本 利文 (64) ＜令和4年4月＞ 博士(情報科学)
		技術史※
兼任	講師	クラ (アツシ) ヲサキ 倉(図師)有希 (34) ＜令和4年4月＞ 学士(芸術学)
		造形基礎演習Ⅰ※ 造形基礎演習Ⅱ※
兼任	講師	コサキ 事知愚 (32) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		中国語Ⅰ
兼任	講師	コバヤシ リュウイチ 小林 龍一 (32) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		先端設計生産工学実習Ⅱ
兼任	講師	コマツ ノリコ 小松 紀子 (53) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		ドイツ語ⅠB
兼任	講師	カウイ フミトシ 酒井 史敏 (48) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		機械力学
兼任	講師	カウイ マサシ 塚 雅志 (55) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		西洋の言語と文化
兼任	講師	カサタ (オホキ) カコ 坂下(大関)加代子 (46) ＜令和4年4月＞ 修士(工学)
		造形基礎演習Ⅰ※ 造形基礎演習Ⅱ※ 価値創造体験演習(PBL)
兼任	講師	カマキ タツヒコ 坂巻 匡彦 (43) ＜令和4年4月＞ 修士(工学)
		技術史※
兼任	講師	カキト マサヒコ 坂本 雅彦 (58) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		流体力学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	シメ マヒロ 塩見 昌裕 (41) <令和4年4月> 博士(工学)
		知能ロボット※ ヒューマンインターフェース演習※
兼任	講師	ススキ ショコ 鈴木 晶子 (65) <令和4年4月> 博士(文学)
		技術者倫理

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	シメ マヒロ 塩見 昌裕 (41) <令和4年4月> 博士(工学)
		知能ロボット※ ヒューマンインターフェース演習※
兼任	講師	シマヅ ミコ 島津 良子 (67) <令和4年4月> 文学修士
		人権と差別 部落史と部落問題
兼任	講師	シマト タカ 島本 太香子 (60) <令和4年4月> 医学博士
		ジェンダー生理学
兼任	講師	サト マイ 杉本 舞 (41) <令和4年4月> 博士(文学)
		科学史
兼任	講師	サヤマ シンペイ 杉山 晋平 (43) <令和4年4月> 修士(教育学)
		考える力をみがく
兼任	講師	ススキ ショコ 鈴木 晶子 (65) <令和4年4月> 博士(文学)
		技術者倫理
兼任	講師	セヤマ ノリコ 瀬山 紀子 (47) <令和4年4月> 修士(社会科学)
		女性リーダーシップ演習
兼任	講師	サカ イチ 曹 偉琴 (64) <令和4年4月> 修士(文学)
		中国語検定初級Ⅰ 中国語検定初級Ⅱ 中国語検定中級Ⅰ 中国語検定中級Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	タケモ ミホ 竹本 三保 (66) ＜令和4年4月＞ 文学士 自己プロデュースⅠ 自己プロデュースⅡ イノベーション演習
兼任	講師	タニグチ ユキリ 谷口 幸典 (46) ＜令和4年4月＞ 博士(工学) 材料力学
兼任	講師	タムラ コウイチロウ 田村 康一郎 (37) ＜令和4年4月＞ 修士(国際協力学) 社会改善起業演習(PBL)
兼任	講師	ツネノ タカ 常田 琢 (46) ＜令和4年4月＞ 博士(工学) 物性工学
兼任	講師	トヨカガ セイジ 豊永 政史 (50) ＜令和4年4月＞ 修士(美術) コンセプチュアルデザイン演習(PBL)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	タカガ マチコ 高岡 昌子 (52) ＜令和4年4月＞ 博士(学術) 心の科学への招待
兼任	講師	タケナカ アキラ 竹中 章勝 (50) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学) 情報処理入門Ⅰ
兼任	講師	タケモ ミホ 竹本 三保 (66) ＜令和4年4月＞ 文学士 自己プロデュースⅠ 自己プロデュースⅡ イノベーション演習
兼任	講師	タニグチ ユキリ 谷口 幸典 (46) ＜令和4年4月＞ 博士(工学) 材料力学
兼任	講師	タムラ コウイチロウ 田村 康一郎 (37) ＜令和4年4月＞ 修士(国際協力学) 社会改善起業演習(PBL)
兼任	講師	ツネノ タカ 常田 琢 (46) ＜令和4年4月＞ 博士(工学) 物性工学
兼任	講師	ツルタ ナミ 鶴田 尚美 (53) ＜令和4年4月＞ 修士(文学) 現代の倫理
兼任	講師	トシロ アンナ 戸城 杏奈 (42) ＜令和4年4月＞ 学士(法学) これからの社会で生きるために
兼任	講師	トダ マチコ 戸田 真紀子 (58) ＜令和4年4月＞ 博士(法学) 国際関係論
兼任	講師	トヨカガ セイジ 豊永 政史 (50) ＜令和4年4月＞ 修士(美術) コンセプチュアルデザイン演習(PBL)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ハシモト アキラ 橋本 昭典 (53) <令和4年4月> 博士(文学)
		批判的思考Ⅰ 批判的思考Ⅱ
兼任	講師	ヒラ トシオ 平 俊男 (53) <令和4年4月> 博士(工学)
		機械工学概論
兼任	講師	フカハ ヒロシ 福岡 寛 (41) <令和4年4月> 博士(工学)
		熱力学
兼任	講師	フジイ トモヤス 藤井 智康 (54) <令和4年4月> 博士(理学)
		環境・防災科学 河川・海岸工学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ナカガワ ノボ 中川 統雄 (52) <令和4年4月> 修士(音楽)
		音楽概説
兼任	講師	ノグチ リエ 野口 理恵 (46) <令和4年4月> 博士(文学)
		歴史学
兼任	講師	ハシモト アキラ 橋本 昭典 (53) <令和4年4月> 博士(文学)
		批判的思考Ⅰ 批判的思考Ⅱ
兼任	講師	ヒラ トシオ 平 俊男 (53) <令和4年4月> 博士(工学)
		機械工学概論
兼任	講師	ヒラノ アサ 平野 綾香 (30) <令和4年4月> 博士(言語文化学)
		ベトナムの言語と文化
兼任	講師	フカハ ヒロシ 福岡 寛 (41) <令和4年4月> 博士(工学)
		熱力学
兼任	講師	フジイ トモヤス 藤井 智康 (54) <令和4年4月> 博士(理学)
		環境・防災科学 河川・海岸工学
兼任	講師	フジタ アユミ 藤田 あゆみ (55) <令和4年4月> 文学修士
		フランス語ⅠA

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	フジタ ナオキ 藤田 直幸 (58) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		電磁気学
兼任	講師	フルタ タヒロ 古田 壮宏 (45) ＜令和4年4月＞ 博士(経営学)
		離散数学 最適化
兼任	講師	ホシノ ヨウ(ミチ) ミカ 北條(三谷)美香代 (49) ＜令和4年4月＞ 博士(音楽)
		批判的思考Ⅰ 批判的思考Ⅱ
兼任	講師	ホスミ ミツア 寶角 光伸 (61) ＜令和4年4月＞ 芸術学修士
		プロダクトデザイン演習
兼任	講師	マエカワ アユミ 前川 歩 (43) ＜令和4年4月＞ 修士(工学)
		歴史文化工学
兼任	講師	ミツクリ カズヒコ 箕作 和彦 (44) ＜令和4年4月＞ 博士(応用生命科学)
		植物生産学 社会改善起業演習(PBL)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	フジタ ナオキ 藤田 直幸 (58) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		電磁気学
兼任	講師	フルタ タヒロ 古田 壮宏 (45) ＜令和4年4月＞ 博士(経営学)
		離散数学 最適化
兼任	講師	ホシノ ヨウ(ミチ) ミカ 北條(三谷)美香代 (49) ＜令和4年4月＞ 博士(音楽)
		批判的思考Ⅰ 批判的思考Ⅱ
兼任	講師	ホスミ ミツア 寶角 光伸 (61) ＜令和4年4月＞ 芸術学修士
		プロダクトデザイン演習
兼任	講師	マエカワ アユミ 前川 歩 (43) ＜令和4年4月＞ 修士(工学)
		歴史文化工学
兼任	講師	マツオ ヨシノリ 松尾 善紀 (52) ＜令和4年4月＞ 学士(法学)
		法律学
兼任	講師	マツカ イツコ 松岡 悦子 (68) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		アジア学入門
兼任	講師	マツダ ユウコ 松田 侑子 (40) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		スペイン語初級Ⅰ スペイン語初級Ⅱ スペイン語中級Ⅰ スペイン語中級Ⅱ
兼任	講師	マツモト イヅ 松本 栄次 (41) ＜令和4年4月＞ 学士(国際食料情報学)
		これからの社会で生きるために
兼任	講師	ミツクリ カズヒコ 箕作 和彦 (44) ＜令和4年4月＞ 博士(応用生命科学)
		植物生産学 社会改善起業演習(PBL)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ミヤシタ タカヒロ 宮下 敬宏 (51) <令和4年4月> 博士(工学)
		知能ロボット ヒューマンインターフェース演習※
兼任	講師	ヤマギシ コウキ 山岸 公基 (61) <令和4年4月> 文学修士
		批判的思考Ⅰ 批判的思考Ⅱ 技術と理念の日本美術史
兼任	講師	ヤマダ (カシマ) ヒロコ 山田(中島) 容子 (57) <令和4年4月> 博士(理学)
		機能性有機材料化学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ミヤシタ タカヒロ 宮下 敬宏 (51) <令和4年4月> 博士(工学)
		知能ロボット ヒューマンインターフェース演習※
兼任	講師	ムカミ フミオ 村上 史朗 (48) <令和4年4月> 博士(社会心理学)
		社会と文化の心理学
兼任	講師	モリタ ヨシフミ 森田 芳文 (65) <令和4年4月> 学士(農学)
		これからの社会で生きるために
兼任	講師	ヤマギシ コウキ 山岸 公基 (61) <令和4年4月> 文学修士
		批判的思考Ⅰ 批判的思考Ⅱ 技術と理念の日本美術史
兼任	講師	ヤマシタ ダイスケ 山下 大輔 (36) <令和4年4月> 修士(文学)
		ドイツ語ⅠA
兼任	講師	ヤマダ (カシマ) ヒロコ 山田(中島) 容子 (57) <令和4年4月> 博士(理学)
		機能性有機材料化学
兼任	講師	ヨシダ ヨコ 吉田 容子 (65) <令和4年4月> 法学士
		人権と差別
兼任	講師	ヨシムラ トモヒロ 吉村 智博 (57) <令和4年4月> 博士(創造都市)
		部落史と部落問題

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・令和2年4月 西村さとみ准教授、星野聡子准教授、山崎明子准教授 教授昇任
- ・令和3年4月 佐藤成成講師 准教授昇任（令和4年2月教員審査済）
- ・令和3年4月 田中希生助教 准教授昇任
- ・令和4年4月 矢島洋一准教授 教授昇任
- ・令和4年4月 中田大貴准教授、長田直之准教授 教授昇任（令和4年2月教員審査済）
- ・令和4年4月 大高千明助教 講師昇任（令和4年2月教員審査済）
- ・令和4年4月 山本健太郎准教授 着任（令和4年2月教員審査済）

- ・他大学転出又は定年退職のため、以下の教員を変更
（兼任）小川英巳、西出良郎、千田春彦

- ・教養教育科目の充実のため、以下の教員を追加
（兼任）
市川千恵子、内田忠賢、小川伸彦、小倉裕範、小林毅、酒井敦、篠田正人、須賀あゆみ、鈴木康史、全有耳、高須夫悟、高田将志、高橋智彦、竹本憲昭、中澤静男、中島隆行、西村雄一郎、根本哲夫、林田敏子、藤平真紀子、Mark Scott、宮林謙吉、村松加奈子、森藤紳哉、山下靖、山本一樹、遊佐陽一、吉田容子、吉村倫一、犬伏雅士、伊達桃子、浅田晴久、安藤（長瀬）香織、石坂友司、井上邦子、岩口伸一、鴨浩靖、北山聡佳、黒川（長田）嘉子、佐藤宏明、澤田佳世、三部倫子、杉浦（松尾）真由美、高島弘、中山留美子、信川正順、松岡由貴、室崎（稲地）千重、保田卓、吉川尚男、高德希、青木美紗、雲島知恵、高田雅美、森田尋子、大賀克彦、浅野友之、瀬戸蘭美、野口克行、蜂谷崇、盛田有貴、上村尚平、金井友希美、齊藤惠美、八ヶ代美佳
（兼任）
青木恵子、芦名裕子、安善姫、飯島雄太郎、伊藤令子、宇埜直子、宇山満、大平美智代、長田明日華、各務奈緒子、柿本佳美、郭真希、金井塚康弘、北口紗織、金幸隆、轟知恵、小松紀子、堺雅志、島津良子、島本太香子、杉本舞、杉山晋平、瀬山紀子、曹偉琴、高岡昌子、竹中草勝、鶴田尚美、戸城杏奈、戸田真紀子、中川統雄、野口理恵、平野綾香、藤田あゆみ、松尾善紀、松岡悦子、松田侑子、松本栄次、村上史朗、森田芳文、山下大輔、吉田容子、吉村智博

- ・教養教育科目の充実のため、以下の教員の担当科目を変更
（兼任）
井上洋一、大平幸代、齊藤美和、佐伯和彦、鈴木広光、高岡尚子、寺岡伸悟、西谷地晴美、水垣源太郎、宮路（丸山）淳子、武藤康弘、柳澤有吾、吉田孝夫、吉村あき子（杉浦哲子）、大塚浩、小野寺香、今野弘草、中川千帆、西村さとみ、星野聡子、前田真砂美、矢島洋一、山崎明子、田中希生、小路田俊子

- ・専門教育科目の充実のため、山本健太郎准教授が担当する「プレゼミナール」「電気化学」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「卒業研究Ⅲ」を追加。（令和4年2月教員審査済）
- ・山本健太郎准教授が着任したことにより、「物理化学」の担当を黒子弘道教授から山本健太郎准教授、「物理化学実験」の担当を大背戸豊准教授から山本健太郎准教授、「無機化学」の担当を三方裕司教授から山本健太郎准教授に担当者変更。（令和4年2月教員審査済）
- ・専門教育科目の充実のため、大高千明講師が担当する「生体力学」を追加。（令和4年2月教員審査済）
- ・久保博子教授が担当する「環境人間工学演習」を「環境人間工学実習」に名称変更。（令和4年2月教員審査済）

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（A C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
9	3	2	1	15	0	11	3	2	0	16	0
(11)	(3)	(2)	(0)	(16)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
11	3	2	0	16	0	11	3	2	0	16	0
[2]	[0]	[0]	[Δ1]	[1]	[0]	[2]	[0]	[0]	[Δ1]	[1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階まで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{15} = \boxed{106.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{16} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{15} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
認可時 (令和3年)	「環境デザイン分野」について、建築やデザイン、化学といった幅広い分野の授業科目が設定されているが、本分野は、自然や資源の保護や地球環境の保全といった一般的な「環境」の分野とは異なる意味を有するものであると考えられることから、本分野の科目の配置の意図や本分野の名称の理由を学生が十分理解できるよう明確に説明するよう努めること。	遵守事項 本学部の「環境」は自然等の地球環境や資源保護に関係がないことが分かるように、設置審では「環境デザイン分野」とした教育範囲を、建築や都市等を学ぶ人間環境エリアと、材料工学を学ぶエリアからなることを、HP・パンフレット・オープンキャンパス等の説明会で明示した。	履行中
認可時 (令和3年)	本学部では、幅広い分野の科目が配置されるとともに、数学Ⅲや物理といった本分野の基礎的な知識を有していない学生の入学も想定される。学生の学修に当たっては、本学部の教育目標に照らした基礎から応用にかけての知識・技能を滞りなく修得できるよう、大学として適切に対応することが重要であり、本学部においても全ての学生に対してチューター教員によるポートフォリオ等を活用したきめ細やかな指導・助言を行うとあるが、学生指導の更なる充実のため、基礎的な科目の必修化や一層の充実、FDの強化をはじめとした学生指導の実効性の確保等について検討し、より充実した学生のサポート体制や仕組みの整備に努めること。特に、3年次編入学生については、2年の修業年限の中で体系的な履修が十分に行えるよう適切な履修指導に努めること。	遵守事項 基幹(必修)科目の数学3科目は博士号をもつ附属中等学校の教員が特任准教授として担当し、プログラミングやエンジニアリング科目はTAを配して基礎科目の指導を充実した。学生全員に専任教員を主担当と副担当に配し、指導力向上のためにFD講習会を2度開催し、PEPAの評価方法を開発している。3年次編入への準備として高等専門学校を訪問しカリキュラムの相互関係を確認して単位互換や履修指導の実質性を確保することに取り組んでいる。	履行中
認可時 (令和3年)	本学部においては、教育目標に照らし、幅広い分野の科目が配置されていることから、教員に負担がかかることが予想されるため、将来的な専任教員の確保も含め、負担の軽減策やサポート体制の整備に努めること。	遵守事項 教員の負担軽減やサポート体制の充実を図るため、以下のとおり整備した。 ・令和4年4月から専任教員(准教授)1名を新たに配置した。 ・令和4年4月から工作機械の管理や授業のサポートを行う非常勤職員を3名配置した。	履行中 令和5年4月から専任教員(助教)1名を配置する予定である。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部 工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
「該当なし」	

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
工学部ファカルティ・ディベロップメント委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
年数回開催

c 委員会の審議事項等
FDの基本方針に関すること
FDの実施及び実施体制に関すること
FDの評価に関すること
その他FDに関すること

② 実施状況

a 実施内容

- ・工学部FD活動の作成
- ・コーチング実習を含むFD講習会の実施
- ・PEPAの評価法を開発中

b 実施方法
工学部にて適宜開催する。遠隔（web）又は実際に集まり議論する予定である。

c 開催状況（教員の参加状況含む）
(令和3年度)
第1回FD講習会 令和3年12月1日（水）18：10～18：50（出席者13人）
第2回FD講習会 令和4年3月19日（土）10：00～10：40（出席者14人）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
FD委員会にて授業評価アンケート票を作成し、授業改善に向け適切なフィードバックを行う予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
学期末に授業評価アンケートを実施する予定である。

b 教員や学生への公開状況、方法等
アンケート結果は速やかに公開し、教員・学生間で共有する予定である。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の計画・目的等、設置計画どおりに実施している。今後も引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおり実施することとしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和6年度 公表予定

b 公表方法

大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

令和9年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）による大学機関別認証評価を受審予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。